

阿南安芸自動車道 ^{みなみ}美波～^{むぎ}牟岐

第1回 説明資料

令和7年2月10日

国土交通省 四国地方整備局

目 次

1. 評価対象区間	…	3
2. 計画段階評価の進め方・スケジュール(案) …		5
3. 地域の概況	…	7
4. 地域の状況と課題	…	14
5. 道路の状況と課題	…	22
6. 課題の整理	…	25
7. 地域の将来像	…	28
8. 意見聴取方法(案)	…	31

1. 評価対象区間

1. 評価対象区間

- 阿南安芸自動車道は、徳島県阿南市から高知県安芸市に至る高規格道路であり、四国8の字ネットワークの一部を形成する。
- 評価対象区間は徳島県海部郡美波町～同牟岐町間であり、事業中の桑野道路・福井道路や全線開通済みの日和佐道路から延伸し、徳島県最南端に位置する海部郡（海陽町・牟岐町・美波町）に接続する区間の一部である。

広域図



位置図



四国8の字ネットワークとは？

四国四県を結ぶ高速交通ネットワークの愛称
目指す道路ネットワークの形が“8の字”であることから名付けられた

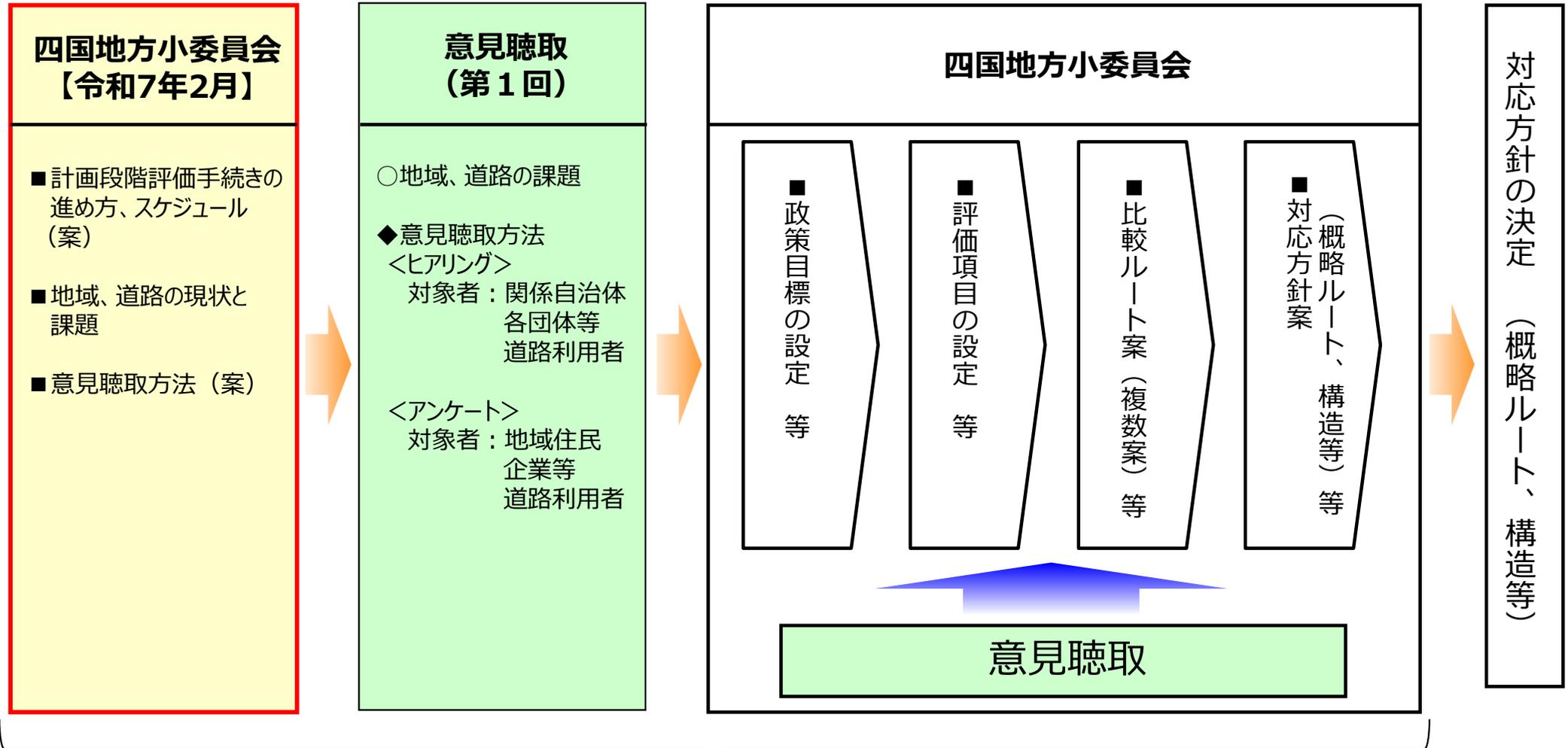
四国8の字ネットワークの整備目的

- 速達性**
 - 地方の中心都市を効率的に連結
 - 救急医療施設へのアクセス性及び走行性の向上
- 安全性**
 - 南海トラフ地震発生時の緊急輸送道路の確保
 - 豪雨・洪水時においても寸断することのない安心・安全な道路ネットワークの確立

出典：四国地方整備局 令和6年度道路事業概要

2. 計画段階評価の進め方・スケジュール(案)

○地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。



※各段階で随時自治体と調整

地方小委員会

3. 地域の概況

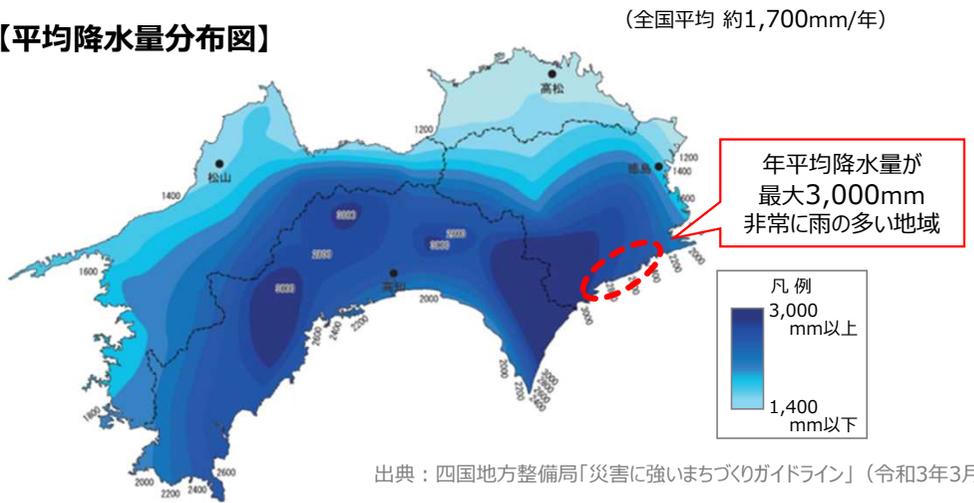
- 対象地域は山が海まで迫る急峻な地形が広く分布しており、豊かな自然が太平洋に面した沿岸部に数多く残る。
- また、山地地形と太平洋気流の影響により四国地方の中でも非常に降水量が多く、台風・豪雨による風水害が発生しやすい地域である。
- 徳島県では気候変動の影響により短時間強雨の発生回数が増加すると予測されており、将来的な風水害の激甚化や頻発化が懸念される。

対象地域の地形・環境

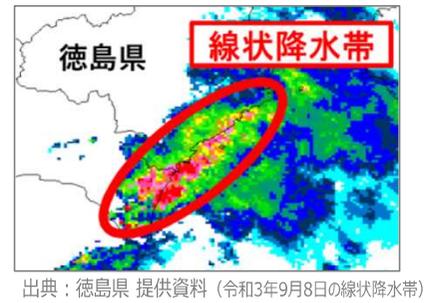


対象地域の気候

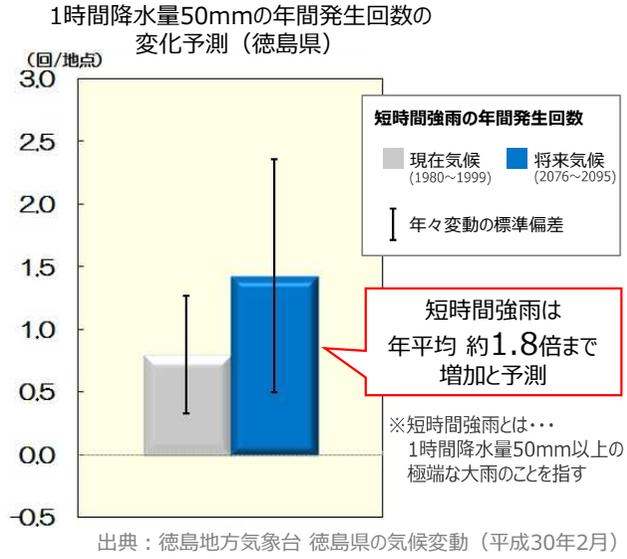
【平均降水量分布図】



【過去の風水害】



【短時間強雨の発生回数】



- 対象地域では、建物用地や農用地としての土地利用は河口付近や川沿いの限られた低地に集中している。
- 建物用地は住宅地・商業地として町の中心部となる市街地を形成している。

対象地域の土地利用状況



① 美波町の市街地

出典：美波町提供

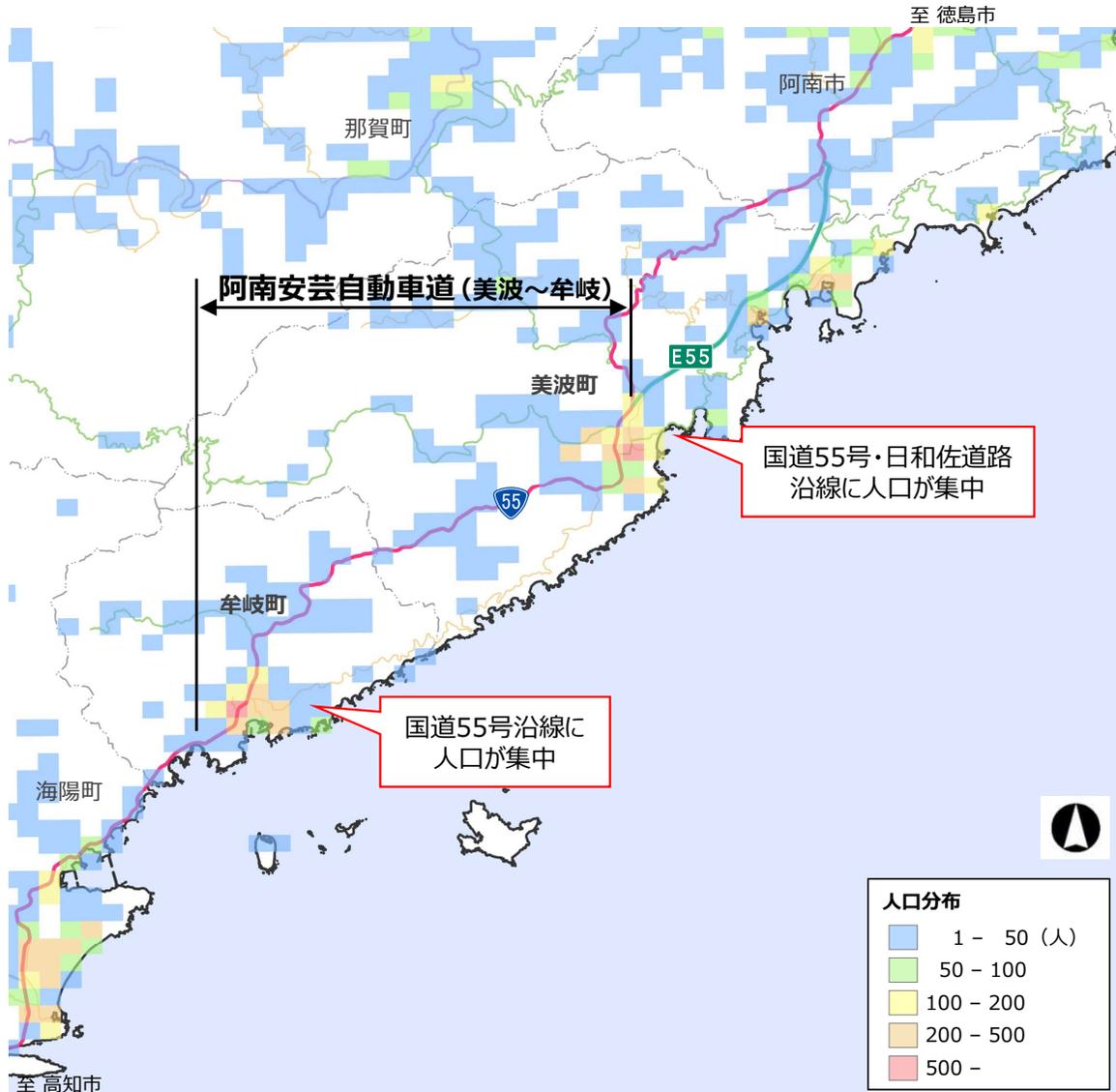


② 牟岐町の市街地

出典：牟岐町提供

- 対象地域の人口は約1万人であり、国道55号及び日和佐道路の沿線に人口が集中している。
- 全国平均と比べて人口減少・高齢化が著しい地域であり、今後も進行することが予測されている。

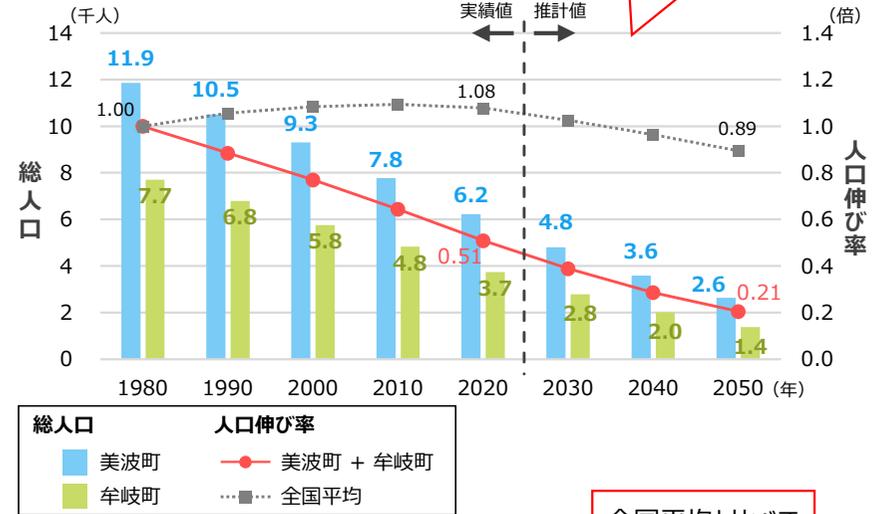
対象地域周辺の人口分布



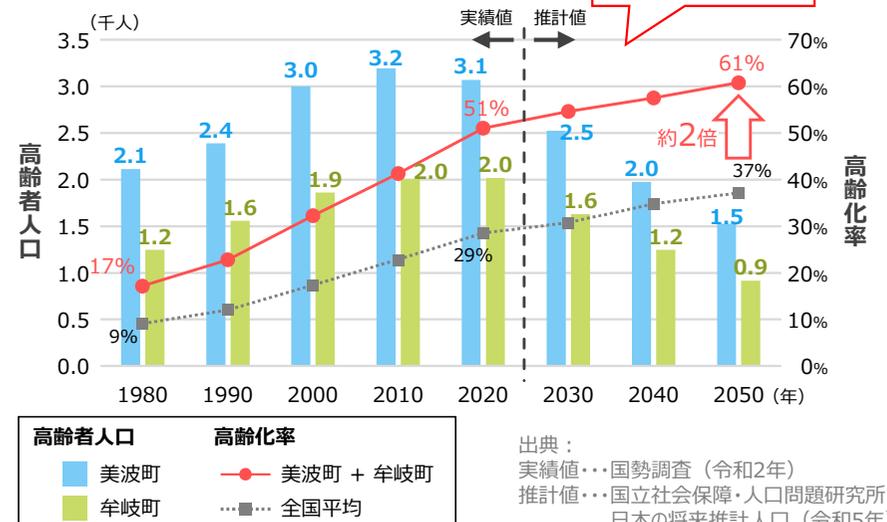
出典：令和2年 国勢調査 地域メッシュ統計

対象地域の人口・高齢化率推移

【人口の推移】



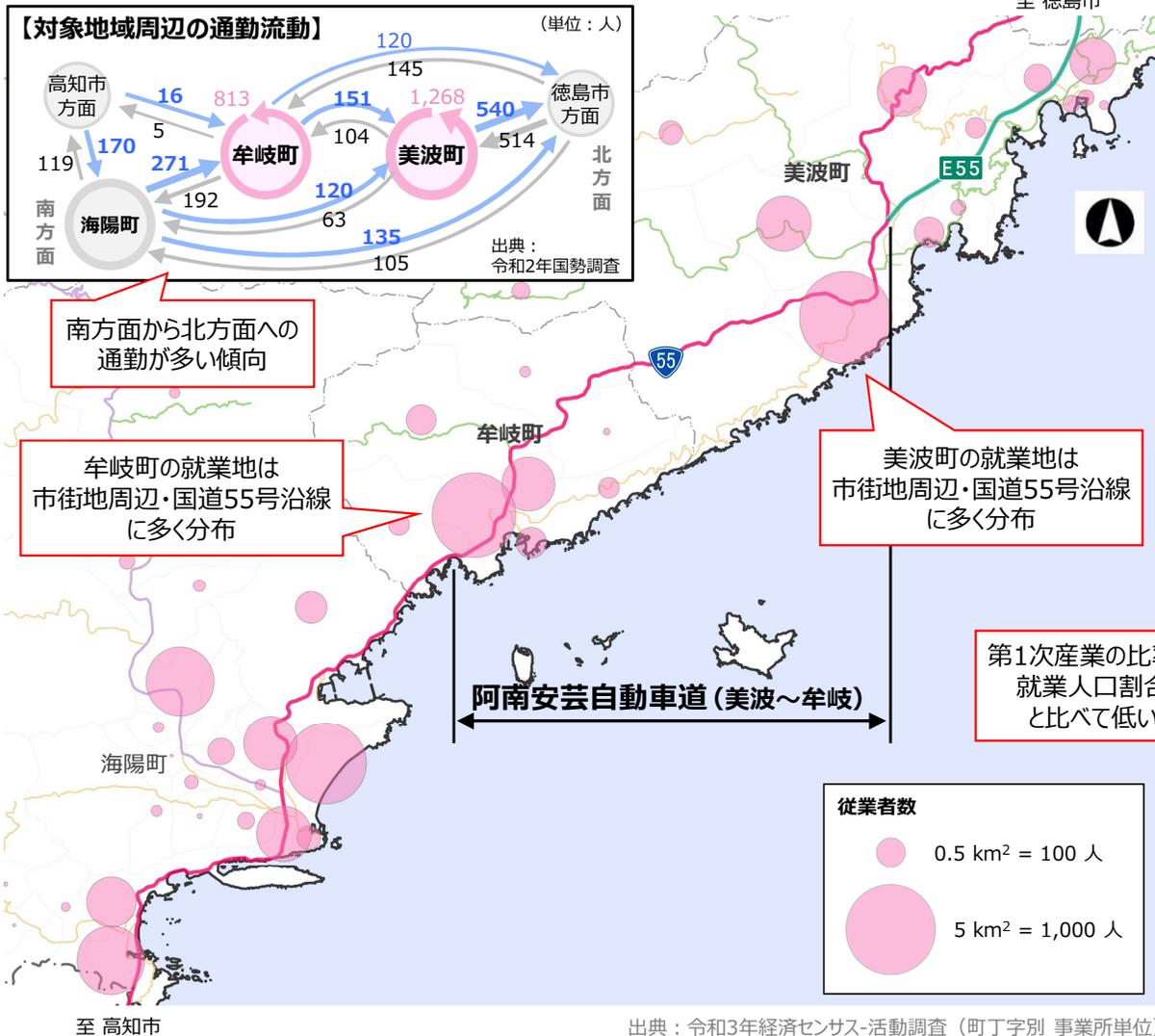
【高齢化率の推移】



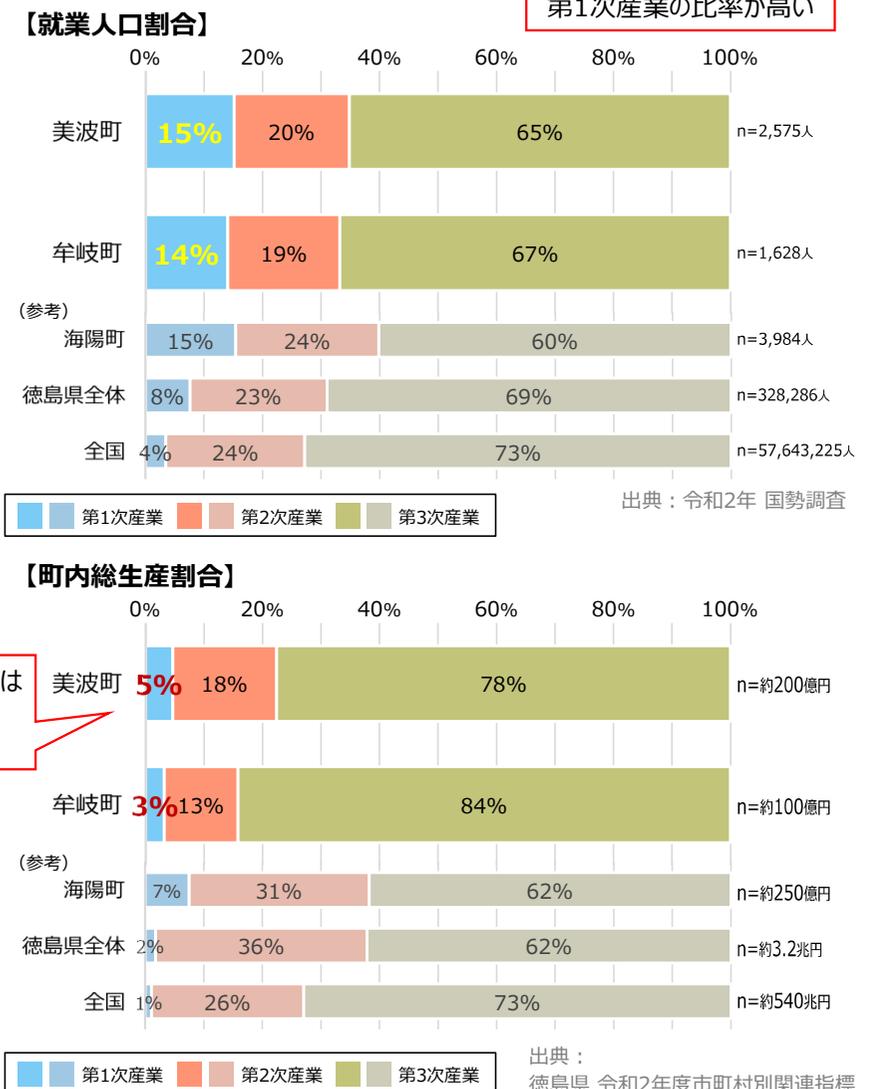
出典：
実績値・・・国勢調査（令和2年）
推計値・・・国立社会保障・人口問題研究所
日本の将来推計人口（令和5年）

- 対象地域の通勤流動は南方面から北方面への通勤が多い傾向であり、就業地は市街地周辺・国道55号沿線に多く分布している。
- また、対象地域では第1次産業の就業人口割合が全国平均を大きく上回っている。
- 一方で第1次産業の総生産割合は就業人口割合と比べて低い。

対象地域周辺の通勤流動・就業地分布



対象地域の産業

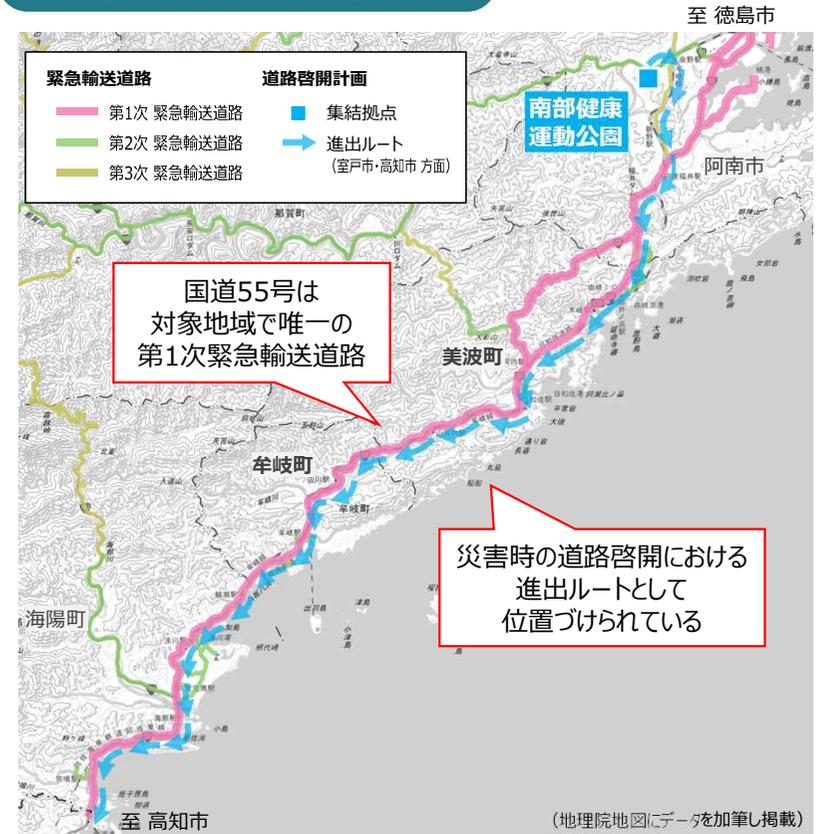


- 国道55号は対象地域で最も交通量が多い幹線道路である。
- また、国道55号は対象地域で唯一の第1次緊急輸送道路であり、災害時の道路啓開※における進出ルートとして位置づけられている。

対象地域の交通状況



対象地域の緊急輸送道路

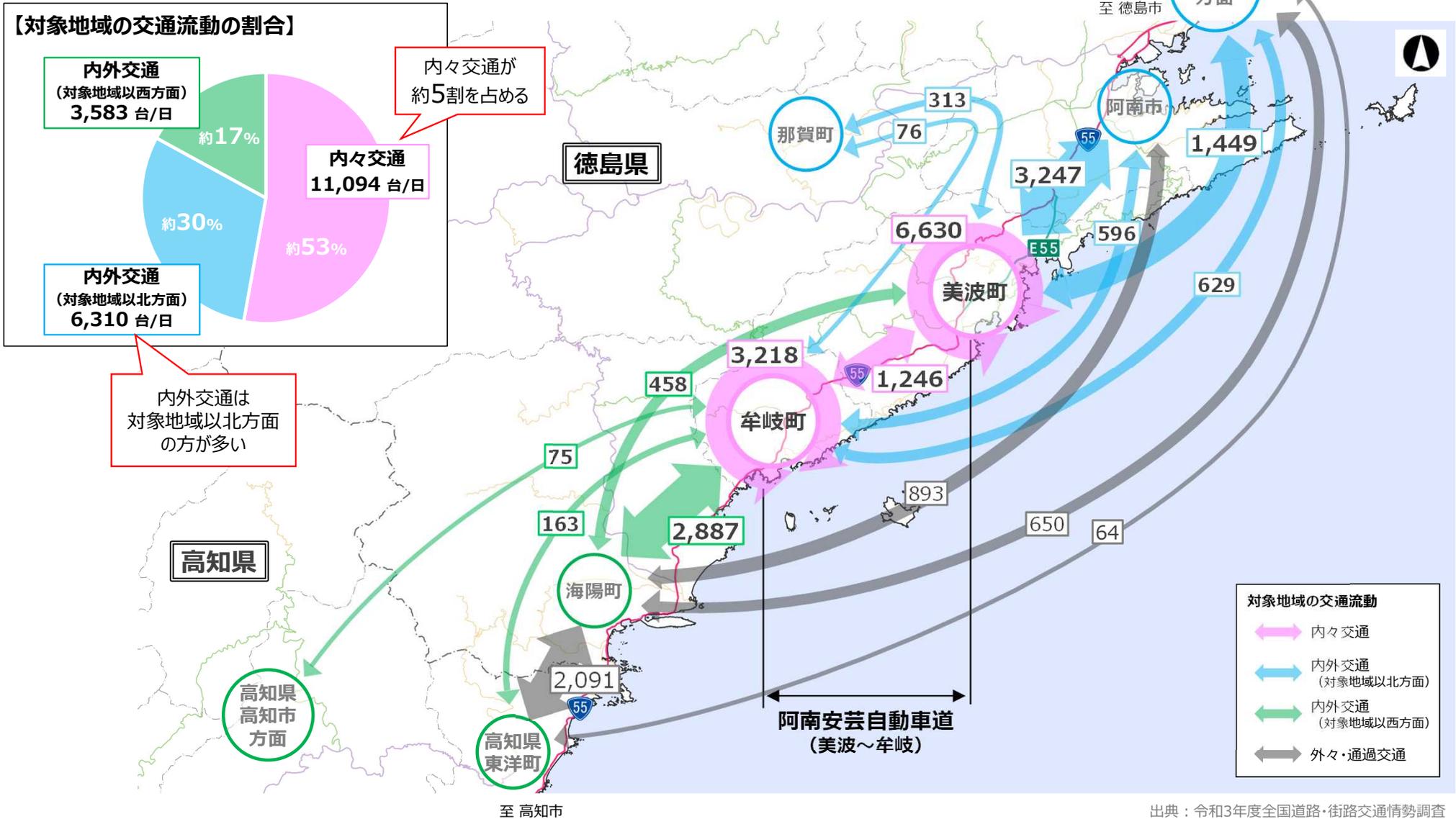


出典：緊急輸送道路・・・徳島県防災会議 徳島県地域防災計画 令和6年1月
 進出ルート・集結拠点・・・徳島県道路啓開計画策定等協議会
 徳島県道路啓開計画(南海トラフ地震対策編) 令和6年6月版

※道路啓開：緊急車両等の通行のため、早急に最低限の瓦礫処理を行い、簡易な段差修正等により救援ルートを開けることをいう。

- 対象地域の交通流動は、地域の内々交通が約5割を占める。
- 内外交通は対象地域以北方面の方が以西方面より多く、対象地域は県都方面とのつながりが強い。

対象地域の交通流動



4. 地域の状況と課題

- 南海トラフ地震により、対象地域では最大震度7の揺れや最大約21mの津波が想定されている。
- 揺れや津波浸水によって、人口の約3割が死傷、建物の約8割が全壊するという、甚大な被害が想定されている。

南海トラフ地震発生時の津波浸水想定



出典：津波浸水想定・・・徳島県津波浸水想定公表について(平成24年10月)
最大津波高・・・徳島県南海トラフ巨大地震被害想定(第一次)(平成25年7月)



① 牟岐町の津波浸水想定

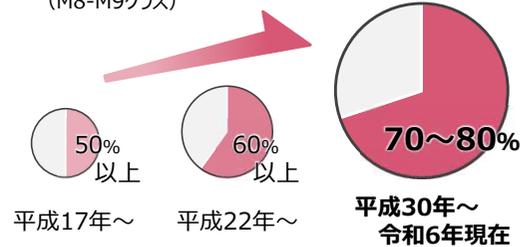


② 美波町の津波浸水想定

南海トラフ地震の発生確率・震度

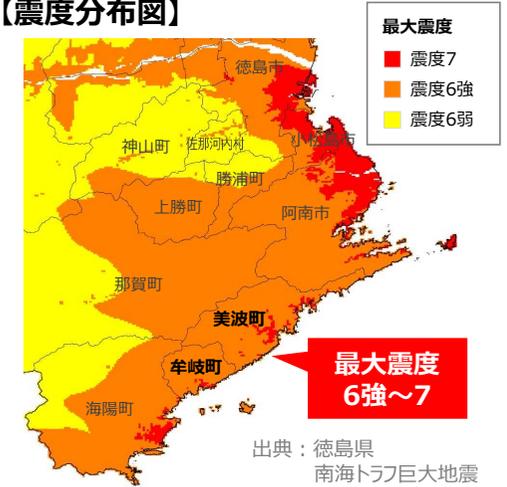
【発生確率】

※30年以内発生確率 (M8-M9クラス)



出典：地震調査研究推進本部
過去の長期評価結果一覧

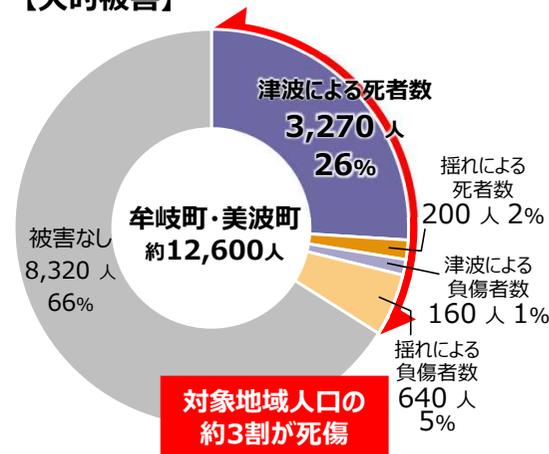
【震度分布図】



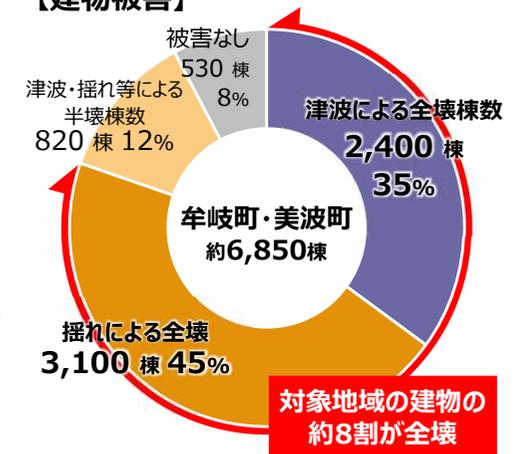
出典：徳島県
南海トラフ巨大地震被害想定(第一次)
(平成25年7月)

南海トラフ地震による被害想定

【人的被害】



【建物被害】



出典：徳島県 南海トラフ巨大地震被害想定(第一次)(平成25年7月)

- 海部郡3町では、役場・病院等の高台移転・高台整備により防災拠点機能を高めることで、南海トラフ地震に備えている。
- また、海部郡への救援・救助活動の初動として、本州・徳島市方面からの道路啓開や広域物資拠点を中心とした物資輸送が計画されている。
- 一方、対象地域において唯一の幹線道路である国道55号は、津波浸水による道路寸断のおそれがあり、信頼性の高い代替路もないため、海部郡の迅速な応急復旧に支障をきたすことが懸念される。

海部郡3町の防災拠点・救援ルート



防災拠点機能を高める取り組み

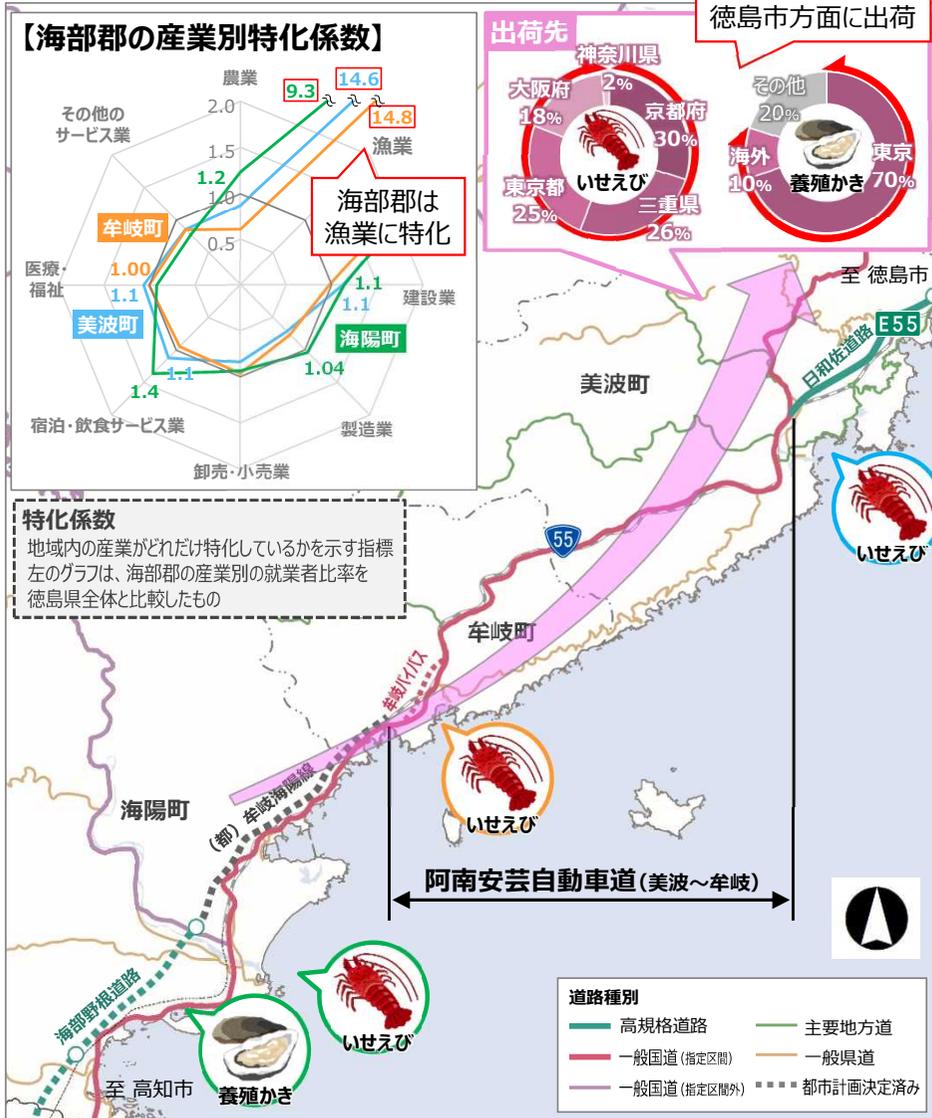


海部郡への道路啓開ルート

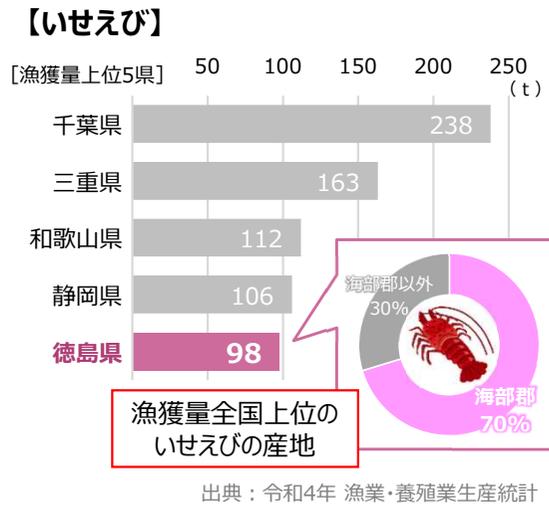


- 海部郡は漁業に特化した地域であり、いせえびや養殖かきといった産品を有する。
- いせえびや養殖かきは生きた状態で市場や消費者へ届けられることで高い単価が保たれている。
- 地域の水産品の価値向上には卸売市場など消費地への円滑な出荷が重要であり、輸送中の品質維持には速達性を高めることが必要。

対象地域周辺の産地と出荷ルート



海部郡の主な産品



【養殖かき】



生牡蠣と冷凍牡蠣の単価



関係者の声

・伊勢海老の輸送は温度管理が重要。夏場の輸送には保冷車を使用しているが、反対に冬はカイロで挟むなど、一定の温度を保つように気をつけて輸送している。

・輸送中の温度に気をつけていても、市場の冷蔵庫につくまでの時間が長いと弱ってしまうため、**道路整備による速達性向上は重要。**

(令和6年8月 ヒアリング調査)

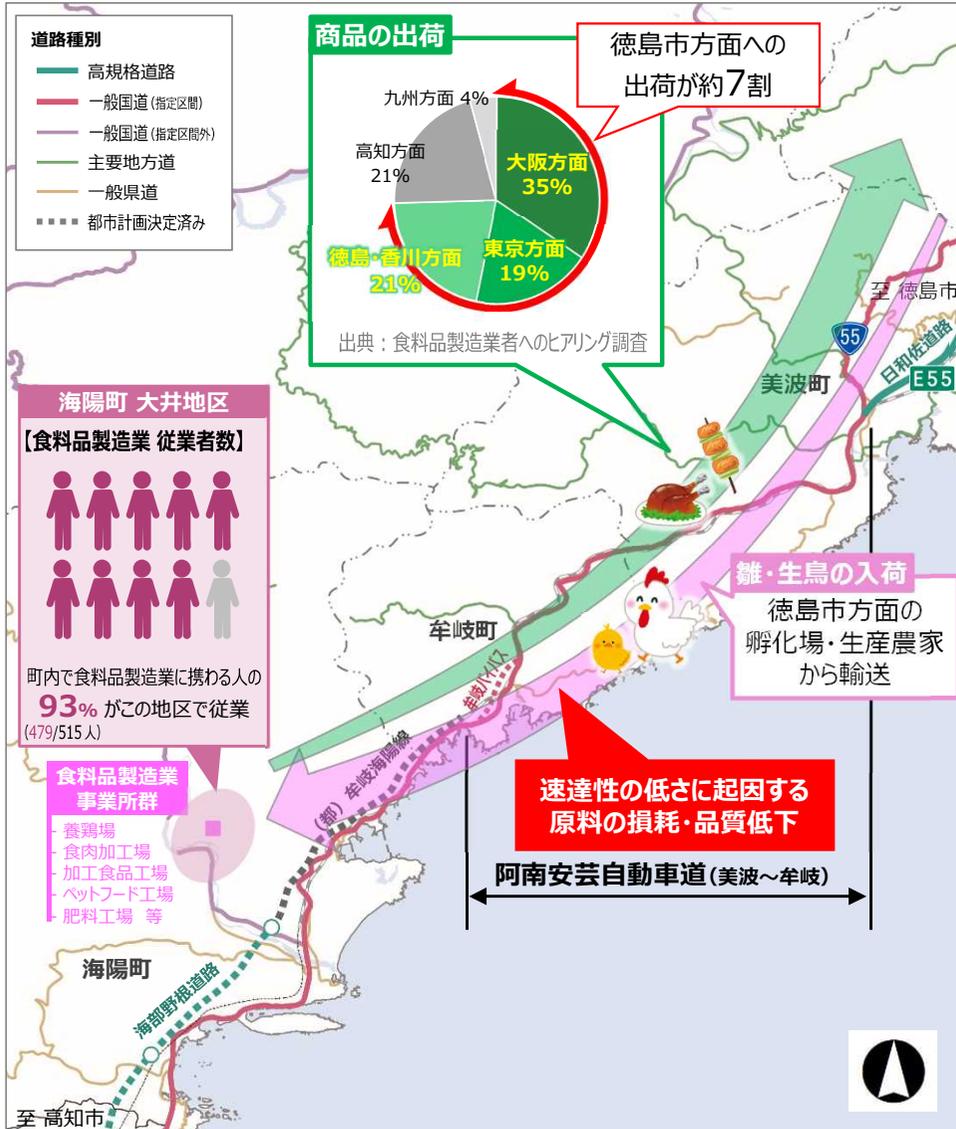
水産品の輸送にあたり 速達性向上が必要



出典：産業特化係数・・・令和2年 国勢調査
出荷先・・・(いせえび) 水産物卸売業者ヒアリング調査 (養殖かき) 徳島県提供資料

- 海部郡最南端に位置する海陽町は食料品製造業を基幹産業としており、主力商品の“阿波尾鶏”は地鶏ブランド日本一の出荷量を誇る。
- 原料入荷や商品出荷は徳島市方面のトラック輸送を主としており、国道55号はサプライチェーンを支える重要な道路である。
- しかし、速達性の低さに起因する原料の損耗・品質低下や、物流2024年問題による輸送力低下が課題。

地域の基幹産業拠点とサプライチェーン



海陽町の産業

【産業別の売上高】

企業単位 売上高：約365億円(令和3年)



食料品製造業は海陽町の基幹産業(企業売上高の約5割)

出典：地域経済分析システム (RESAS)

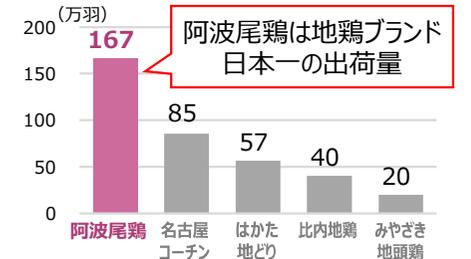
【製造業の主力商品】

阿波尾鶏

徳島県で開発された地鶏の品種。明石海峡大橋が開通した平成10年以降、地鶏出荷羽数日本一を継続。



【地鶏ブランドの出荷状況】



出典：(独)家畜改良センター兵庫牧場 令和5年度 国産肉用鶏データベース調査結果 (令和4年度実績)

関係者の声

- ・鳥類は哺乳類に比べてデリケート。原料の雛や生鳥をトラック輸送する時、車内の温度の過不足や輸送時間が長引くことによる給餌の遅れなど、過度な負担・ストレスを与えるおそれがある。輸送時の負荷は到着死や入荷後の体重減少・品質低下につながりやすいので、輸送はできるだけ短い時間で、確実に到着することが重要。
- ・原料の入荷や商品の出荷などはトラック輸送に頼っているが、ドライバーの運転時間規制による輸送力の減少も目下の懸念。

(令和6年8月 ヒアリング調査)



食料品製造業関係者

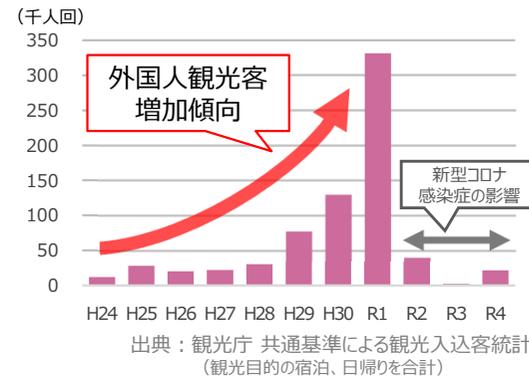
- 徳島県を訪れる外国人観光客と徳島小松島港に来航する外国籍クルーズ船は年々増加している。
- 一方、クルーズ船からのバスツアー訪問先は、高規格道路の整備により定時性・速達性が確保された県東部・西部方面しか選ばれていない。
- 自然豊かな観光資源が分布する県南地域へ観光客を呼び込むには、定時性・速達性の確保が課題である。

徳島県のゲートウェイと主な観光地

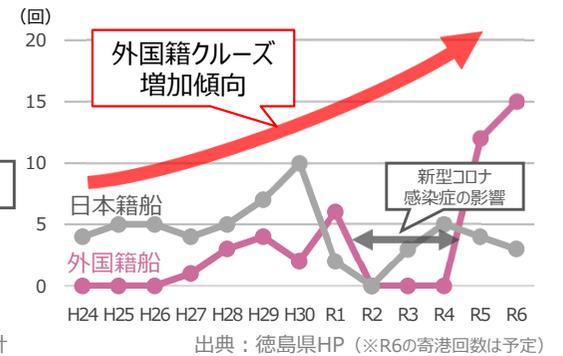


徳島県におけるインバウンド動向

【徳島県の外国人観光客の推移】

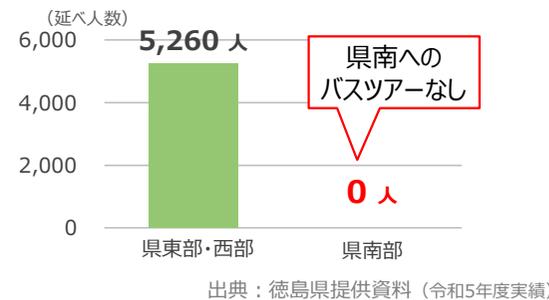


【徳島小松島港へ寄港するクルーズ船数】



徳島県南部の観光事情

【徳島小松島港からのバスツアーの観光客数】



【観光振興への取組】

みなみ阿波観光局

みなみ阿波

徳島県南部エリアにおいて、**地域が一体**となった観光振興を図るために、みなみ阿波観光局を設立し、旅行企画の開発や誘致、情報発信などを実施。

出典：ロゴ・・・みなみ阿波観光局提供

関係者の声

- ・徳島小松島港にクルーズ船が来るが、**地域特有のものや自然が人気**であり、渋滞の少ないコースが人気となっている。
- ・県南地域にも観光需要はあるが、**道路整備が弱くコースが用意できていない**。道路整備により所要時間が削減できれば、**県南地域へのコースも期待**できる。

(令和5年6月 ヒアリング結果)



港湾関係者

- 高齢化が進む海部郡では管内・管外の救急医療機関へ救急搬送する機会が増加している。
- 一方、海陽町から最寄りの三次救急医療機関までは高規格道路が整備されていないこともあり、60分以内に到達できない地域が残存している。
- さらに、対象地域の国道55号は急カーブ・急勾配が続き、救急搬送時に傷病者へ負担を強いている。

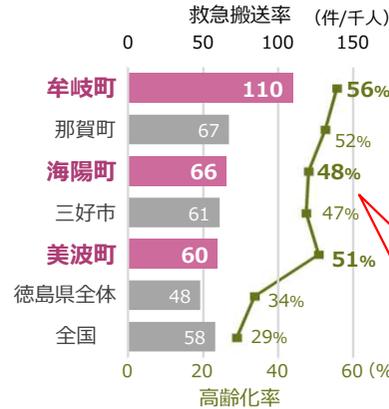
3次救急医療機関への搬送ルート



海部郡の救急搬送状況

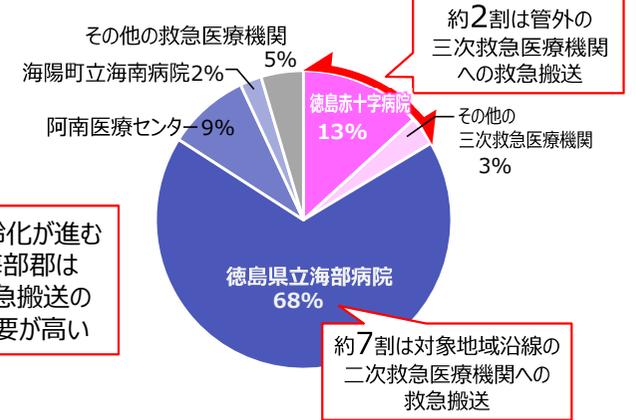
出典：救急搬送率…徳島県 令和4年救急患者搬送調べ
 総務省消防庁 令和5年版救急救助の現況
 救急搬送先…海部消防組合消防本部 提供資料

【市町村別 救急搬送状況】(令和4年分)

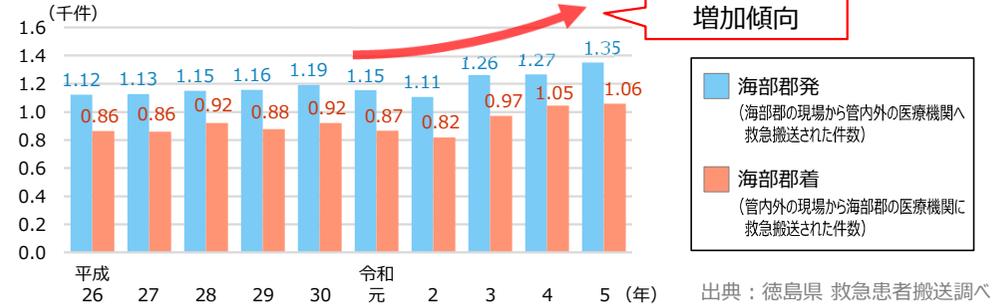


高齢化が進む海部郡は救急搬送の需要が高い

【海部郡発の救急搬送先】(令和4年分)



【海部郡発着の救急搬送件数】



関係者の声

- ・搬送時の横揺れは傷病者の安静を阻害する。国道55号は道路線形が悪く、急カーブ・急勾配区間を走るのは傷病者にとって負担。
- ・救急車・救急隊員の数は限られるので、移動時間が長いと救急医療体制の空白が生まれやすい。

(令和5年6月 ヒアリング結果)

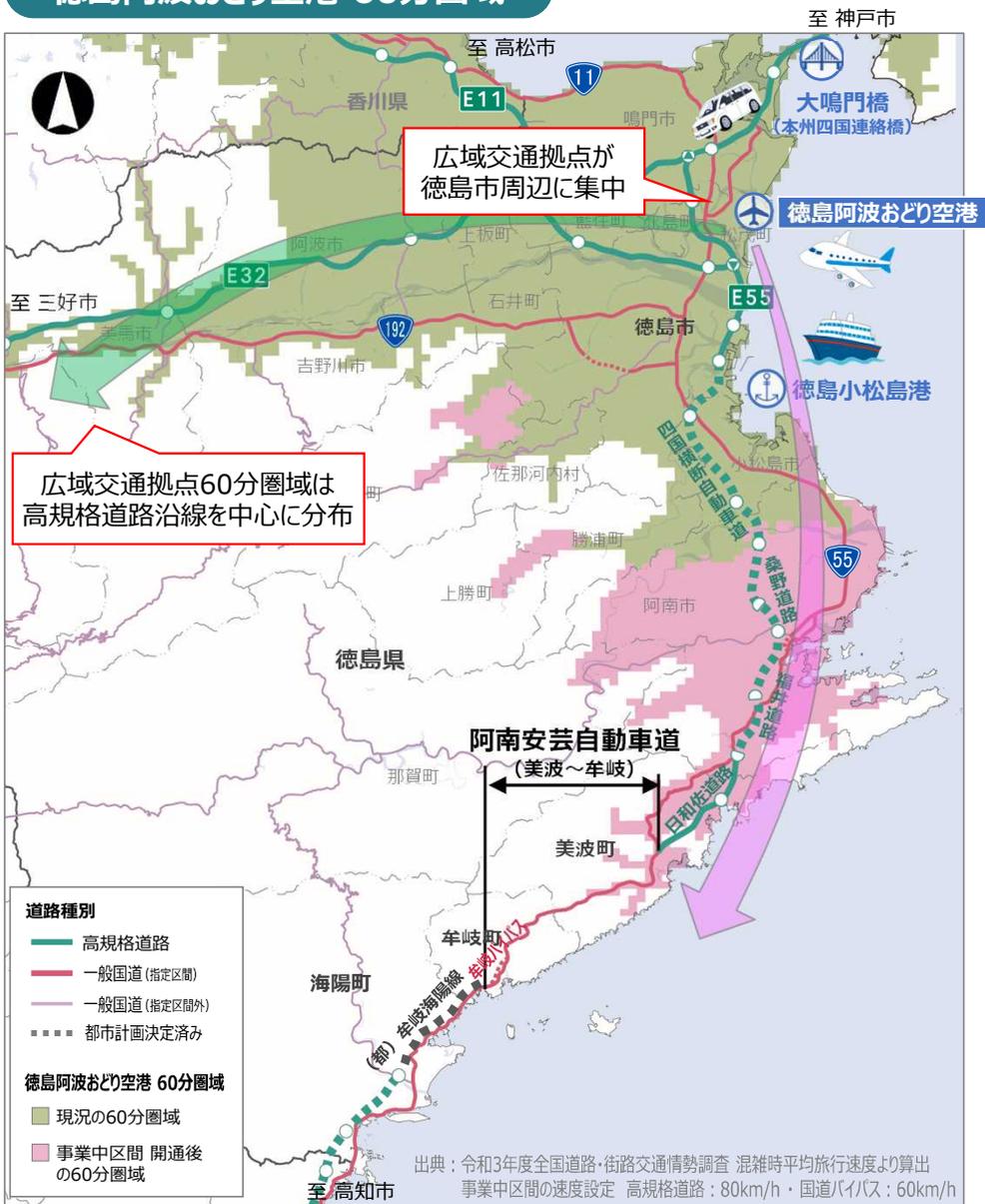


救急医療関係者

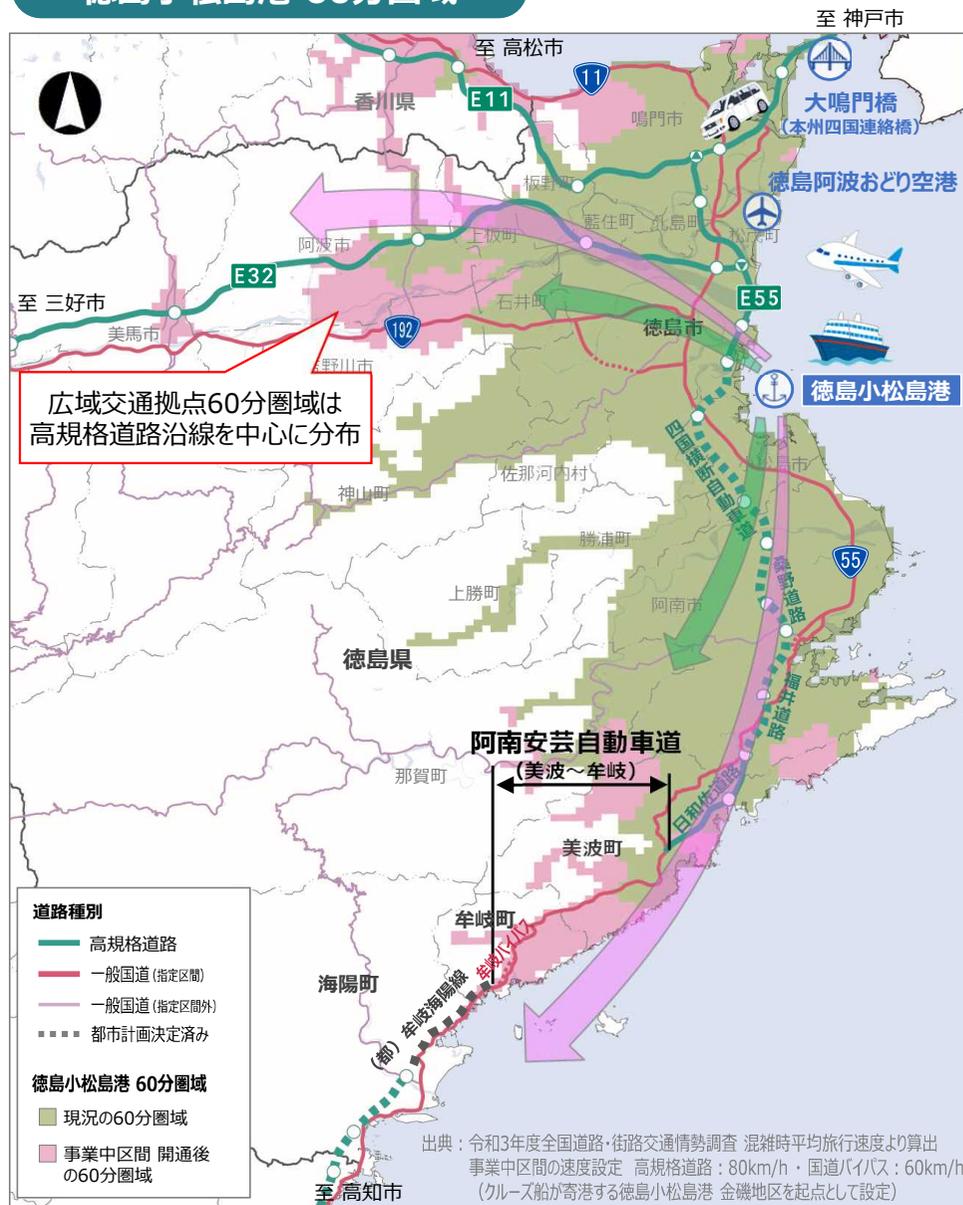


- 徳島県では、空港・港湾や連絡橋など四国の玄関口となる広域交通拠点が徳島市周辺に集中している。
- 広域交通拠点の60分圏域は高規格道路沿線を中心に分布しており、事業中区間が今後開通することで南方向に拡大。
- 海部郡へのさらなる観光客呼び込みには、広域交通拠点・観光資源の連絡性を高め、周遊性を高めることが必要。

徳島阿波おどり空港 60分圏域



徳島小松島港 60分圏域



5. 道路の状況と課題

- 国道55号は対象地域の河川・斜面沿いに位置しており、津波浸水や洪水浸水、土砂災害による道路ネットワークの寸断が懸念される。
- 対象地域は山に囲まれており、幹線道路機能を代替できる迂回路が直近にないため、通行止めが長時間に及ぶ場合、道路利用者は広域的な迂回を強いられる。
- 道路ネットワーク寸断による社会・経済活動への影響を回避するため、幹線道路の代替路確保・リダンダンシー強化が必要。

国道55号の道路ネットワーク寸断リスク

出典：津波浸水想定…徳島県津波浸水想定公表について（平成24年10月）
 洪水浸水想定…国土数値情報、徳島県「中小河川を対象とした洪水浸水想定区域図の公表について」
 土砂災害警戒区域…国土数値情報
 人が居住する地域…令和2年 国勢調査 地域メッシュ統計



対象地域の迂回距離・延長



現道の津波浸水率



代替路確保の効果

H30.7月 土砂流入・法面崩壊（愛媛県宇和島市）

大雨の影響で土砂流入・法面崩壊が発生。現道は約225時間にわたり全面通行止めとなったが、大雨の間（約17時間）以外、**高規格道路が代替路として機能**



R4.7月 法面崩壊（高知県高岡郡中土佐町）

台風の影響で現道沿いの法面崩壊が発生。現道は約130時間にわたり全面通行止めとなったが、大雨の間（約8時間）以外、**高規格道路が代替路として機能**



出典：令和3年度全国道路・街路交通情勢調査 混雑時平均旅行速度より算出

- 対象地域の幹線道路である国道55号は、線形不良箇所（急カーブ：10箇所、急勾配：5箇所）が分布しており、走行性に課題がある。
- 対象区間において発生した事故のうち、正面衝突等が約23%を占め（全国平均の約6倍）、線形不良の多い山間部に集中して発生しており、安心・安全な生活を確保するため、走行性の向上が必要。

国道55号の線形不良箇所・事故発生地点

出典：事故発生地点…イタルデータ（H30-R4）
 全国平均値…令和5年版交通安全白書



③ 急カーブの状況（牟岐町）



④ 急勾配の状況（美波町-牟岐町境）



⑤ 急カーブの状況（美波町）

道路種別

- 高規格道路
- 一般国道（指定区間）
- 主要地方道
- 一般県道
- 都市計画決定済み

線形不良箇所

- 急カーブ (R<150m : 10箇所)
- 急勾配 (i>5.0% : 5箇所)

事故発生地点

- 長時間の通行止めを伴う事故 (令和6年)
- 正面衝突等の事故 (平成30年～令和4年)
- 正面衝突等以外の事故 (平成30年～令和4年)



① 車両同士の正面衝突事故（牟岐町）



② 車両同士の正面衝突事故（美波町）

6. 課題の整理

防災

▶ 南海トラフ地震時の津波浸水

・対象地域において唯一の幹線道路である国道55号は、津波浸水による道路寸断のおそれがあり、信頼性の高い代替路もないため、海部郡の迅速な応急復旧に支障をきたすことが懸念される。

▶ 道路ネットワークの寸断

・国道55号は対象地域の河川・斜面沿いに位置しており、津波浸水や洪水浸水、土砂災害による道路ネットワークの寸断が懸念される。
・対象地域は山に囲まれており、幹線道路機能を代替できる迂回路が直近にないため、通行止めが長時間に及ぶ場合、道路利用者は広域的な迂回を強いられる。



美波町の津波浸水想定



牟岐町の津波浸水想定

観光振興

▶ 広域周遊

・自然豊かな観光資源が分布する県南地域へ観光客を呼び込むには、定時性・速達性の確保が課題である。



徳島小松島港に入港するクルーズ船



出羽島

産業振興

▶ 水産業

・地域の水産品の価値向上には卸売市場など消費地への円滑な出荷が重要であり、輸送中の品質維持には速達性を高めることが必要。



出典：株式会社リール提供

あまべ牡蠣

▶ 製造業

・速達性の低さに起因する原料の損耗・品質低下や、物流2024年問題による輸送力低下が課題。



阿波尾鶏

安全・安心

▶ 救急医療機関へのアクセス

・海陽町から最寄りの三次救急医療機関までは高規格道路が整備されていないこともあり、60分以内に到達できない地域が残存している。

▶ 走行性・安全性

・対象地域の幹線道路である国道55号は、線形不良箇所（急カーブ：10箇所、急勾配：5箇所）が分布しており、走行性に課題がある。



急カーブ区間を走行する救急車





World-class Infrastructure with 3S(Smart, Safe, Sustainable) Empowered NETwork

“2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステム”をWISNET（ワイスネット）と位置づけ、その実現のための政策展開により、新時代の課題解決と価値創造に貢献します。

経済成長・物流強化


地域安全保障のエッセンシャルネットワーク


交通モード間の連携強化


観光立国の推進


自動運転社会の実現


低炭素で持続可能な道路の実現


7. 地域の将来像

- 美波町総合計画および美波町都市計画マスタープランにおいて、まちづくりの方針が整理されている。
- 美波町のまちづくりにおいては、道路の整備によって町内外の交流促進（「生活利便性の向上や来訪者の増加」）や防災機能の向上（「災害に強い道路ネットワークの形成」）を目指す方針が示されている。

▶将来像

安心して暮らせる町を基本として、豊かな心の醸成等による人づくりを進めるとともに住民一人ひとりが地域を思い、協働の精神のもと、持続可能なまちづくりを基本理念とし、将来像を以下のとおり定めます。



海・山・川の恵みを活かし、

知恵と心でつくるまち

～住んでよかったと実感できるまちを目指して～



▶道路・交通施設の整備方針（抜粋）

○国道・県道の整備

・広域的交通アクセスの向上を目指して、阿南安芸自動車道の桑野道路、福井道路の早期完成と海部道路の早期事業化を国や徳島県に要望します。

○安全で快適な道づくり

・歩行空間の確保等、安全性や災害時への対応、危険箇所の改修、環境・景観に配慮した、道路の整備等に努めます。

出典：第3次 美波町総合計画（R5.3月）

▶将来像

住んでよかったと実感できる持続可能なまち

～未来につなげる“にぎやかそ”のまちづくり～

住民一人ひとりにとって、暮らしやすく、住み続けたいと感じられる“持続可能なまち”の形成を目指します。

また、今後、人口減少が進行していく中でも、にぎやかな過疎のまち（“にぎやかそ”）として、過去から現在そして未来へ、持続的に発展していくまちづくりを進めていきます。

▶道路・交通施設の整備方針（抜粋）

町内外を結ぶ道路・公共交通は、通勤・通学、通院等の日常生活を支えるとともに、町内外の交流を促す重要な基盤であるため、関係機関と連携を図りながら、計画的な道路の整備や維持管理、公共交通の適正な運行や利用促進等に努めます。

また、災害時における避難路、救援・救助や物資の搬送等の道路の役割を踏まえた上で、災害に強い道路ネットワークの形成を目指します。

○地域高規格道路「阿南安芸自動車道」の早期開通

- ・日和佐道路の開通効果による生活利便性の向上や来訪者の増加等の更なる発揮を目指し、地域高規格道路 阿南安芸自動車道の桑野道路、福井道路の早期完成と日和佐道路以南の海部道路の早期事業化に向け、周辺市町との連携のもと、関係機関へ要望します。
- ・また、地域高規格道路 阿南安芸自動車道の整備は、本町のまちづくりに大きな影響を与えることから、その動向を踏まえながら土地利用のあり方や公共施設の配置等を検討します。

○緊急輸送道路等の強化

- ・日和佐道路や国道55号（中略）が徳島県緊急輸送道路に指定されており、これらの道路ネットワークを軸としながら、災害時の救援・救助、物資の輸送等を支える災害に強い道路ネットワークの形成に努めます。
- ・また、大規模な災害により道路が被災した際には、多くの地域が孤立するおそれがあることから、国道・県道・町道の道路管理者それぞれにおいて、法面対策や橋梁の耐震化等に取り組み、安全性や信頼性の高い災害に強い道づくりに努めます。

出典：美波町都市計画マスタープラン（R6.3月）

- 牟岐町総合計画および牟岐町都市計画マスタープランにおいて、まちづくりの方針が整理されている。
- 牟岐町のまちづくりにおいては、道路の整備によって町内外の交流促進（「交通アクセスや移動の利便性確保」、「生活利便性の向上や来訪者の増加」）や防災機能の向上（「命の道ともなる防災道路」、「災害に強い道路ネットワークの形成」）を目指す方針が示されている。

▶ 将来像

海と緑に包まれた牟岐町に関わるすべての人が「I am 牟岐人（私は牟岐人です）」と自慢できるようなまち、また、それぞれのしあわせを実感しながら、安心して暮らすことができる笑顔あふれるまちの実現への想いを込めたものです。



豊かな自然とあふれる笑顔
夢と緑と黒潮のまち 牟岐

まちづくりの大綱

誰もが安心して暮らせるまちづくり

住みたくなる訪れたくなるにぎわいあるまちづくり

少子高齢化社会に対応した保健・医療・福祉のまちづくり

生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育むまちづくり

時代に合った住み続けたいと思える持続可能なまちづくり

町民・企業団体・行政が力を合わせて創るまちづくり

牟岐町らしさあふれる将来像の実現に向かって、まち全体で取り組みを行います。

▶ 道路・交通施設の整備方針（抜粋）

○ 交通アクセスや移動の利便性確保

観光客の利便性を高めるため、高規格道路などのインフラ整備を促進していくとともに、JR牟岐線の利便性向上やバスなど二次交通の充実を促進します。

○ 阿南・安芸地域高規格道路の早期実現

発生が予想される南海トラフ地震の際に「命の道」ともなる防災道路を目的とした阿南・安芸地域高規格道路の早期完成を実現するとともに、美波・牟岐間の調整中区間から都市計画決定区間への昇格のため、国、県及び関係機関への要望を続けていきます。

出典：牟岐町総合計画（R3.3月）

▶ 将来像

全国的な人口減少局面にある中で、本町は特に人口減少・少子高齢化の傾向が著しく、このままの傾向が続けば、まちとしての機能を維持していくことが困難な状況が訪れる可能性があります。加えて、南海トラフ巨大地震による甚大な被害も想定されており、一層、逼迫した状況にあるといえます。（中略）

そのため、本町の様々な資源を活かしながら、まちの活気や賑わいの再生を図るとともに、地域の次代を担う人材育成を進めるなど、持続可能なまちの実現に向けて、まちづくりの将来像を以下のようにつめます。

自然と共生し、健やかで活力ある、夢と緑と黒潮のまち

～安全・安心で若者が集う故郷づくり～

▶ 道路・交通施設の整備方針（抜粋）

町内外を結ぶ道路・公共交通は、通勤・通学、通院などの日常生活を支えるとともに、町内外の交流を促す重要な基盤であるため、関係機関と連携を図りながら、計画的な道路の整備や維持管理、公共交通の適正な運行や利用促進などに努めます。

また、災害時における避難路や救援・救助、物資の搬送などの道路の役割を踏まえ、災害に強い道路ネットワークの形成をめざしていきます。

○ 地域高規格道路「阿南安芸自動車道」の早期開通

地域高規格道路の開通効果による生活利便性の向上や来訪者の増加などをめざし、周辺市町との連携のもと、阿南安芸自動車道の整備促進に努めます。

また、阿南安芸自動車道の整備は、本町のまちづくりに大きな影響を与えることから、その動向を踏まえながら土地利用のあり方や公共施設の配置等の検討を進めていきます。

○ 災害に強い道路ネットワークの形成

国道55号をはじめとする徳島県緊急輸送道路に指定された路線を軸としながら、災害時の救援・救助、物資の輸送等を支える災害に強い道路ネットワークの形成に努めます。

出典：牟岐町都市計画マスタープラン（H28.3月）

8. 意見聴取方法(案)

■ 意見聴取の方法と目的

把握する意見	アンケート	ヒアリング	備考
地域の課題	美波～牟岐間における改善すべき地域の課題について、地域住民の概ねの考えを把握する。	アンケートでは把握できない防災、産業、観光、住みやすさなどの地域の課題を具体的に把握する。	第1回
道路の役割	美波～牟岐間における求められる道路の役割について、地域住民の概ねの考えを把握する。	アンケートでは把握できない道路・交通などに求める具体的な役割を把握する。	
その他自由意見	その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。		
比較ルート帯案(複数案)に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート帯選定にあたり、地域住民が概ね重要視する点を把握する。 ・インターチェンジ設置位置(配置計画)において、地域住民が重要視する点を把握する。 	ルート帯や周辺道路との接続位置について、アンケートでは把握できない具体的な重要視する点を把握する。	今後
その他自由意見	その他、各区間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。		
回答者の属性利用状況	回答結果の差異に対して各分野で整理し、分析する。	—	共通

8. 意見聴取方法(案)

■ 意見聴取の基本方針

○美波～牟岐間における「改善すべき地域の課題」「求められる道路の役割」に対して意見を伺う。

■ 意見聴取の対象者と方法

対象者・実施方法		
アンケート	【地域住民】：沿線地域である美波町、牟岐町の住民への郵送配布	約5,000部
	美波町：全世帯に配布	約3,000部
	牟岐町：全世帯に配布	約2,000部
	【事業者】：沿線地域である美波町、牟岐町の企業へ郵送配布	
	企業等：製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業	約 150部
	【道路利用者】道の駅および観光施設等への常設、WEB（HP掲載）による実施	
ヒアリング	【沿線・周辺地域及び団体代表者】県・市・町・団体へインタビュー形式でのヒアリング	
	自治体：徳島県、阿南市、美波町、牟岐町、海陽町、高知県、東洋町	
	各団体等：トラック協会、商工会議所、商工会、消防署、警察、バス事業者、農協、漁協、観光協会、医療関係および、周辺市町が地域代表として推薦していただく地域の活動団体	
	【道路利用者】沿線・周辺地域の道の駅、観光施設の利用者へのインタビュー形式でのヒアリング	
	道の駅：道の駅日和佐（美波町）、道の駅穴喰温泉（海陽町）	
	観光施設：うみがめ博物館カレッタ（美波町）、貝の資料館モラスコむぎ（牟岐町）、生見サーフィンビーチ（東洋町）	

■ 意見聴取範囲



出典：世帯数・・・美波町HP（R6.3月末現在）
牟岐町HP（R6.3.1現在）

8. 意見聴取方法(案)

■ 質問内容・回答欄

問1 人口の減少・高齢化が進行している美波町・牟岐町地域における課題は、どのようなものがありますか？

以下のa～eについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
a 南海トラフ地震による津波浸水で地域が分断され、迅速な応急復旧に不安を感じる	5	4	3	2	1
b 水産業や食料品製造業などの輸送の速達性に不安を感じる	5	4	3	2	1
c 高度な医療が受けられる病院へのアクセスが悪く不安を感じる	5	4	3	2	1
d 自然豊かな観光資源が有効活用できていないと感じる	5	4	3	2	1
e 国道55号には急カーブや急勾配区間が多く、走行性が悪いと感じる	5	4	3	2	1

上記a～e以外で、地域で困っていること、改善してほしいことがあれば、ご自由にお書きください。

問2 牟岐町・美波町地域に必要な道路はどのような道路だと思いますか？

以下のa～dのうち、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
a 地震・津波や台風などの自然災害に強く、広域的な避難・救援ルートとなる信頼性の高い道路	5	4	3	2	1
b 速達性の向上により、地域の産業振興につながる道路	5	4	3	2	1
c 交流の促進によって、広域的な観光振興を支える道路	5	4	3	2	1
d 高度な医療を受けられる病院へ早く行くことができ、事故が少なく安全・安心に通行できる道路	5	4	3	2	1

上記a～d以外で、道路に期待していることなどがあればご自由にお書きください。

問3 その他、国道55号 美波～牟岐間について、あなた自身が日頃から感じることなど、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。